公表 事業所における自己評価結果

24

合わせて支援を行っているか。

事業所名 放課後等デイサービス Zoo安芸 公表日 2025年3月31日 チェック項目 いいえ 工夫している点 課題や改善すべき点 はい 活動ごとに部屋を変えたり自由時間は分散で 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 0 きるようにしている。 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切である 子ども2人につき1人の職員が配置されるよう 0 2 境 にしている。 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている 活動に見通しが持てるようにボードで予定を バリアフリーに関してトイレに手すりがつい 体 か。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や 提示したり、活動によって場所を変えたり、 3 0 ている程度なので必要に応じて対応したい。 制 情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 動線を作っていく事で構造化を図っている。 整 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 清掃を毎日行い、活動に応じて机を片付けた 0 こども達の活動に合わせた空間となっているか。 りマットを用意する等活動に配慮している。 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められ クールダウンする際や個別課題を行う時には 使用できるときの視覚化をすることで誰でも 5 0 る環境になっているか。 使用できるようにしている。 すぐにできるようにしていきたい。 管理者を中心に児童発達支援管理責任者及び 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り) 指導員が改善すべき点を挙げ話し合い業務改 に、広く職員が参画しているか。 善に取り組んでいる。 毎年11月中旬より配布を行い集計し、年内に 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて 0 はまとめている。内容とその後の対応策や改 おり、その内容を業務改善につなげているか。 善点を考え、職員で共有している。 務 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につ ケア会議や面談を行うようにすることで話を 8 0 改 なげているか。 する機会を定期的に作るようにしている。 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている 善 9 0 行政からの研修内容は職員間で共有し、受講 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研 を積極的にしてもらうようにしている。事例 0 修を開催する機会が確保されているか。 検討も行い、支援の引き出しも行えるように している。 作成までは行っているが、年度内にHPや別冊 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 0 11 Zooにて公表予定。 5 領域になったことで更に細分化して支援を 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の 行えるようになったため、利用者本人や保護 ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を 0 12 者の意見を反映しやすいようにケア会議や家 作成しているか。 族連携で話を聞いて作成を行っている。 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 職員にも話を聞き、方向性を確認した上で計 13 者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども \cap 画の作成を行うようにしている。 の最善の利益を考慮した検討が行われているか。 計画は職員なら誰でも閲覧可能になってお 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 14 0 り、修正や変更があった際も伝達することで 行われているか。 計画を把握しての支援を行っている。 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル 固定化した考えに捉われず、日々変化すると なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセ いうことを理解した上で行動観察を行うよう 15 0 スメントを使用する等により確認しているか。 にしている。 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家 族支援丨、「移行支援丨及び「地域支援・地域連携丨のねらい及び支 0 16 援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定さ 切 れ、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 な 常勤職員がメインで作成を行っている。非常 支 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 \bigcirc 勤も支援を考慮した活動プログラムを提案し 揺 ているがもう少し増やしていきたい。 の この曜日に来ないとこれができない、という 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 18 \circ ことがないように曜日の変更や新しい取り組 (# みを随時取り入れている。 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課 19 \circ 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 活動プログラムの動きの確認や前日の様子、 20 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている \bigcirc 保護者からの伝達を確認できるように申し送 りの作成を行い、口頭でも確認している。 送迎後に職員で今日の活動内容の共有を行 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 21 \bigcirc う。サービス開始前に必要な共有は必ず行う 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ 個別支援記録は必ず記録を行っている。 \bigcirc 22 なげているか。 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 23 \bigcirc 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み

 \bigcirc

25 26 27 28 係機 29 や保護 30 10 10 10 10 10 10 10	切に行っているか。 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0 0	0	工夫している点 デイ会を設定し、子どもたちが話し合いをして行事ごとを決めたり、遊びのルールを決めたりする機会を設けている。 児童発達支援管理責任者がメインで参画している。 送迎表作成時、作成した職員以外が確認をすることでミスに気づけるようにしている。 連絡調整は都度臨機応変に行っている。	課題や改善すべき点 医療関係に関しては連携することがあまりないので検討していきたい。
26 27 関係機 関や 保 30	をする力を育てるための支援を行っているか。 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0		たりする機会を設けている。 児童発達支援管理責任者がメインで参画している。 送迎表作成時、作成した職員以外が確認をすることでミスに気づけるようにしている。	
27 関係機 関や 保 30	そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、ごどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			児童発達支援管理責任者がメインで参画している。 送迎表作成時、作成した職員以外が確認をすることでミスに気づけるようにしている。	
27 関係機 関や 保 30	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、ごどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0		送迎表作成時、作成した職員以外が確認をすることでミスに気づけるようにしている。	
関 係 機 関 や 保	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーパイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0		ることでミスに気づけるようにしている。	いので検討していきたい。
係 機 29 や 保	の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	0	ることでミスに気づけるようにしている。	
係 機 29 関 や 保	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		0	連絡調整は都度臨機応変に行っている。	İ
関 や 保 30	事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーパイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		0		
や 保 30	へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				必要に応じて保育園や児童発達支援事業所に 情報共有を行っていきたい。
保	か。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		_		
	パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		0	全員ではないが必要に応じて行っている。	
者 31			0		今後は機会を設けたい。
の 32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		0	近隣の公園での活動時や町内清掃時に関わる程度は行っている。	
連		0		南区部会には出来る限り参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課	0		送迎時に伝えるようにしており、それ以外も	
<u> </u>	題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ			メール、家族連携を通して行っている。	
35			0	行政からの情報は保護者に流している。	
	連営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ			契約時に全て説明を行っている。大きな変更	
36	でいるか。	0		時には追加で既に利用しているご家庭にも説明をするようにしている。	
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思			7,27 500 712 5 6 7 1 2 1	
37	の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや	0			
	家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、				
38	保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	0			
展 39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要 な助言と支援を行っているか。	0		家族連携を行ったり、計画作成時に聞けるように機会の提供を行っている。	
者	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、				(C-11-4) A
へ 40 の	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		0		保護者会の要望はあり、会社全体で検討中。
説 明 41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対	0		苦情受付は管理者が行うようにしている。 そ	
等	応しているか。			の後の流れも方針は定まっている。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対し	0		InstagramやFB、Zoo便りを通しての発信を	
	て発信しているか。			行っている。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0		鍵のかかる場所にて保管を行っている。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	0			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。		0	町内清掃や地域探索にて町内の人とのかかわりを持つようにしている。	
	国うといるか。 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染			シ 614 カタンに (て) (の)	
46	症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。	0			
47	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して		0		投薬に関してのマニュアルを作成予定。
非 ——	いるか。 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が				食物アレルギーの利用者がいないが、今後を
常 49	されているか。		0		踏まえて検討中。
時 等 50 の	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0			
対 51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検	0		ヒヤリハットは当日もしくは次の日は作成し	
53	討をしているか。 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし	0		会社内で共有できるようにしている。 行政からの研修を積極的に受け、会社内でも	
53	ているか。			研修を行い意識向上に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0			